



Keyword

検品君

倉庫内での検品や在庫管理、トレーサビリティ、作業分析が可能なパッケージソフトであり、倉庫内で活用できるコンサルティング型パッケージです。システム導入時に運用コンサルティングを行い、業務改善及びシステム改善が実現可能です。

IT 導入補助金

IT 導入補助金（サービス等生産性向上IT 導入支援事業）は、中小企業・小規模事業者等のみならずが自社の課題やニーズに合ったIT ツールを導入する経費の一部を補助することで、みなさまの業務効率化・売上アップをサポートするものです。

同事業は2020年度も継続する見込みですので、ご興味のある方は、弊社担当営業にご相談ください。

なお、2020年3月に補助金セミナーを開催する予定です。詳細は別途ご案内します。

プリンタ消耗品
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

1 プリンタ消耗品
事務用品を
Webから簡単購入!

2 34,000点にのぼる
豊富な品揃え!

3 14時までの
ご注文で翌日お届け!

北陸砂糖株式会社 様

(所在地：富山県富山市)

Case Study

入荷検品～仕入入力効率化をきっかけに、販売管理業務を改善!



▲ 本社工社外観

今回は入荷検品～仕入入力効率化を目的に検品システムの導入に至った経緯や効果、今後の展望について、代表取締役社長 中田栄太様にお話をお伺いしました。(以下、敬称略)

ご検討の背景を教えてください。

中田：弊社は食品の総合商社で、在庫している商品数は約2800、在庫しない商品はその倍近くの種類を取り扱います。販売管理のシステムは、HCSさんのターコイズ販売管理システム（以下、TQ販売）を約10年使用しています。1日平均約300商品を入荷しますが、仕入担当が目視で検品して、事務員がTQ販売に仕入を手入力していたので、検品間違いや仕入入力ミスもありました。多くのアイテムを取り扱う弊社では手作業に限界を感じたため、システム化の検討を始めました。

選定の決め手は何でしたか?

中田：HCSさんに相談したところ、検品システムとして「検品君」をご提案いただきました。「検品君」が検品業務に特化した成熟度の高いパッケージ製品であること、「検品君」とTQ販売の連携実績が豊富であることが選定の決め手になりました。また、費用面で「IT導入補助金」活用のご提案もいただきました。HCSさんは「IT導入補助金」の申請手続きにも精通しておられるので、段取りよくご対応いただき、費用負担を軽減できました。

導入のポイントを教えてください

中田：弊社は本社、高岡店、市場店の3拠点に倉庫がありますが、本社が商品数・入荷頻度において一番複雑なため、まずは本社にバーコードスキャナを3台配備することにしました。仕組みがシンプルなので、バーコードスキャナの運用を明確にする点がポイントでした。取扱商品の約1/4はバーコードがないので、納品書に載っている仕入先管理のバーコードを読み取ることにし、それも無い場合は検品・仕入は手

作業としました。また、新規商品は商品マスタに登録されていないので、バーコードをスキャナで一旦読み取り、後で食品業界の商品マスタデータベースと照合し、商品マスタに追加登録することにしました。

運用開始してみていかがでしたか?

中田：当初はバーコードスキャナで商品を読み取っても、そのうち2割は商品マスタ未登録品でした。約半年かけて商品マスタを整備したことで、ようやく運用が波に乗りました。おかげで、入荷検品～仕入入力ミスが減り、業務効率が良くなりました。以前は1日平均約300明細の仕入を手入力していましたが、今は新規商品仕入時のみ、多い時でも1日7明細程度の手入力力で済むようになりました。

今後の展望を教えてください

中田：現在はまだ運用していませんが、入荷商品と在庫品の賞味期限逆転や在庫品の賞味期限切れをチェックする機能もありますので、近々運用を開始する予定です。この機能を運用開始すれば、賞味期限確認のために倉庫の中を探し回らなくてもよくなります。

貴重なお話ありがとうございました。



『5G』とは？

2020年春にサービス開始を予定している次世代ネットワークです。リアルタイムで大量のデータ通信が可能となり、様々な分野で新たなビジネス展開が期待されています。

例えば、精密さが求められる医療現場では、専門医が遠隔地から医療機器を操作し、オペをすることも可能になります。

今後5Gの普及により、これまで漫画の世界でしか実現できなかった夢のような生活もすぐそこまで来ているのかもしれません。

『延長サポート』とは？

パソコン上にセキュリティ面で問題点が見つかった際に、マイクロソフトが対策プログラムを無償で提供してくれるものです。

延長サポート終了後は、対策プログラムが配信されないため、セキュリティ上危険な状態となります。

01. 『HCSフェア』開催！



11月14日に、とやま自遊館(富山市湊入船町)にて、『第16回HCSソリューションフェア2019』を開催しました。あいにくの天気でしたが、多くの方々にご来場いただき誠にありがとうございました。

来場いただいた方の多くが「AI」「VR」「5G」等の先端技術の体験に興味を示されていました。また、従来から課題となっている業務作業効率化についても多数の相談をいただきました。

今後も、皆様の業務改善にお役立てできる様々な情報を発信いたします。HCSフェアのご感想や業務のお困り事等ございましたら、ぜひ弊社営業までお話しください。

02. 2019年を振り返る

今年の出来事として印象強いのは、10月より施行された消費税増税ではないでしょうか。



消費の落ち込み対策として、キャッシュレス・ポイント還元事業が始まりました。予想以上にキャッシュレス化が進み、今年が「キャッシュレス元年」となりました。

来年はオリンピックイヤー。在宅勤務を中心としたテレワークの普及が予想されます。今後も時流に合った対策をご提案してまいります。

03. 対策は年内に。

来年1月14日に「Windows 7」の延長サポートが終了します。引き続き使用すると情報漏洩やデータ破壊などの危険性が高まります。安全性を確保するために最新のOSを利用することをお奨めします。やむを得ず継続利用が必要な場合は、今後の対策を含め、弊社営業までご相談ください。



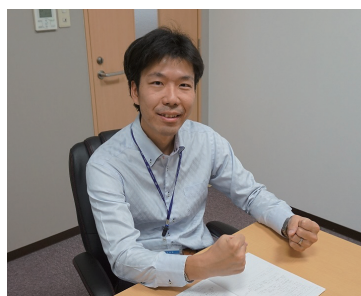
HCSのよここ



システム本部 ソリューションシステム部 リーダー

め た に と も ひ ろ

目谷 智宏 さん



Q. これまでの経歴は？

2014年に中途採用で入社しました。当時HCSが製造業に詳しいSEを募集していて、自分の経験と合致したことが入社のきっかけでした。現在主に製造業を担当させていただいており、前職も含めると20社以上の製造業のシステム構築経験があります。

Q. 今後の目標を教えてください。

地域に根差し、お客様と二人三脚の関係性でシステムを構築する取り組みは、自身の成長を後押ししてくれます。システムでの課題解決で収益貢献し、仕事が楽になって皆さまが幸せになるお手伝いをすることが私たちの役目なので、これまでの経験を多くのお客様に役立てたいです。

仕事以外にも、筋トレや子育てに奮闘中です。

編集後記



筆者も今年を振り返って見ました。キャッシュレス・ポイント還元事業で生活が一変したように思います。これまで様々な理由で現金派を貫いていましたが、いざキャッシュレス生活を始めてみると、ポイントを貯める楽しさや支払いの便利さ等を体感しました。来年は仕事だけではなく、家庭の効率化を図りたいものです。

寒さがより一層強まってまいりました。皆様お身体にお気をつけて、よいお年をお迎えください。(まつお)

お問い合わせ



全カパートナー

北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ICT イノベーション推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843

www.hcs.co.jp